

考えて行動する子が育つ、明日も行きたくなる学校づくり ～かんがえて、どんどん、のびよう～



西っ子だより 12月号



ひたむきに、ひたすらに

およそ100人の保護者や地域の方々の声援を受け、子どもたちは自分の決めたコースを一生懸命走り切りました。朝マラソンや試走でも最後まで走り抜こうと頑張る姿が見られ、昨年度からのコース選択制が定着しているように思います。



当日の子どもたち。スタート地点に向かうときの緊張した顔。走っているときのひたむきな顔。ゴールインしたときの満足気な顔。どの子もいい顔でした。コースのあちらこちらで響く友だちの応援や、保護者・地域の方々の温かい声援が、子どもたちの頑張りを後押ししているようでした。



自分の走力や目標からコースを選び、挑戦する。結果をふり返って、次に活かす。この「決める→やる→ふり返る→直す」サイクルは、朝マラソンだけでなく、子どもたちの学びづくりの柱として学習や生活においても大切に取り組んでいます。

一方で、私たちは子どもたちが自然に持つ「速いこと、長いことが優れている」という「無意識のものさし」と向き合っています。「違いを認めてみんなで伸びる」ために、選んだコースでの挑戦全てを確かな頑張りとして認め、励まし続ける姿勢の大切さを教職員一人一人再確認しました。そして、この意識で「明日も行きたくなる学校」づくりを引き続き進めてまいります。(校長：梅垣泰三)

西っ子あれこれ

N-1 第2弾

第2回を迎えた今回は、ダンスクラブの発表、歌、お笑い、ひげダンスなど前回は上回る参加者と内容でした。1年生から6年生まで頑張った！次回、3学期の第3弾も楽しみです。



PSKでプール水泳

全校を2回に分けて実施しました。暖房が入った館内は12月だということを忘れるほどの暖かさ。水しぶきを立て、自分のコースで楽しく、そして一生懸命に泳ぎました。「いっぱい泳いだ」「また行きたい」と子どもたち。



冬まつりで完売！

3年生がもち米を、5年生は古代米を、「のどかなかどの冬まつり」で販売しました。「私たちが育てました」「美味しいよ」と呼び込んで、売れるたびに「ありがとうございました」とお礼の声。あっという間に予定数が完売しました。



1月の主な学校行事と下校時刻

状況等により、予定を変更させていただきますことがあります。

月	火	水	木	金
1/5 冬季休業日	6 冬季休業日	7 3学期始業式 期初短縮③ 卒業写真 一斉下校(11:20)	8 期初短縮④ 給食開始 一斉下校(13:20)	9 通常校時 1～3年(14:30) 4～6年(15:15)
12 成人の日	13 1、2年(14:30) 3～6年(15:15)	14 1.17 集会 一斉下校(14:30)	15 1、2年(14:30) 3～6年(15:15)	16 1～3年(14:30) 4～6年(15:15)
19 一斉下校(14:30)	20 1、2年(14:30) 3～6年(15:15)	21 一斉下校(14:30)	22 6年薬物乱用防止教室 1、2年(14:30) 3～6年(15:15)	23 1～3年(14:30) 4～6年(15:15)
26 一斉下校(14:30)	27 1、2年(14:30) 3～6年(15:15)	28 委員会(ロング) 1～4年(14:30) 5、6年(15:15)	29 1、2年(14:30) 3～6年(15:15)	30 1～3年(14:30) 4～6年(15:15)
2/2 一斉下校(14:30)	3 1、2年(14:30) 3～6年(15:15)	4 一斉下校(14:30)	5 1、2年(14:30) 3～6年(15:15)	6 オープン参観日 PTA 人権講演会 1～3年(14:30) 4～6年(15:15)

映画『二宮金次郎』鑑賞会

地域の先人・佐々井信太郎先生と社会の教科書にも載る二宮金次郎を学習した4年生が鑑賞。「至誠」「一円融合」といった報徳の教えのエピソードが映像と重なり、理解を深めました。

上映前、映画の五十嵐監督から子どもたちへのビデオメッセージにとても驚き、喜んでいました。



子どもたちは「木を運ぶ人だと思っていたけど、人の生活を変えた人だとわかりびっくりした」「努力で周りを笑顔にした人だから銅像があるのだと思った」などと感想に書き、佐々井先生の功績にも改めて思いを馳せる機会となりました。

差別のない社会へ

水平社博物館と西光寺で校外学習した6年生。午前は展示を見学。メモを取りながら差別解消に力を尽くした人たちの歴史を学びました。



午後は西光寺住職・清原隆宣さんの話を拝聴。「差別は、人がつくった“間違っものさし”から生まれる。私たちは誰もが“尊い存在”であり、その価値は皆同じ。」とお話しされました。子どもたちは、「人間は尊敬すべきもの」という水平社の理念を胸に、「自分がされて嫌なことはしない」「誇りをもって胸を張って生きる」ことの大切さを再確認しました。